



立志 鍛錬 協調

令和元年12月12日号

立三申

立川市立立川第三中学校  
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

## ノーチャイムウィーク

校長 山口真一

11月29日、2年生の校外学習を実施しました。鎌倉での班行動でしたが、マナーやルールを守り、三中生として立派な行動ができました。事前学習の取り組みと日々のしっかりとした生活の成果です。今後、三中の中心となって活躍してくれることを十分期待できる活動でした。

さて、今学期も様々な取組があり、多くの成果を残しましたが、その一つに生徒会で取り組んだノーチャイムウィークがありました。時間の使い方を工夫して主体的に行動する力を身に付けることを目的としています。本校としては初めての試みでしたが、アンケートの集計結果から「主体的に行動できた」と回答した生徒が約80%になりました。1週間という短い期間でしたが、ほとんどの生徒が時間を意識して行動できたことは、本校のレベルの高さを示しています。

時間を管理することは大切なことです。時間は止めることも引き延ばすこともできません。だから時間を管理するのではなく、時間の中における行動を管理します。時間を有効に使う行動とは、行動の目的とプロセス（手順）が明確になっていることが大切です。時間は当たりまえにあると思わず、時間は大切であると思うように意識を変えることも必要です。社会に出れば自分で使える時間は限られてきます。ビジネスの手法として5分、10分の短い時間、「すきま時間」の活用が実践されています。時間を効率よく使うために、

- ・やるべきことを書き出す。見える化する。
- ・優先順位を決める。
- ・やらないことを決める。

スマホ等でのSNSやゲーム等です。これを始めると20～30分はすぐたってしまいます。時間は大切な資産です。今回のノーチャイムウィークは時間の大切さ、使い方を見直す意味でもとても有意義な取組でした。生徒会本部では今後の活動に向けて、話し合いを進めています。こうしたレベルの高い取り組みができるのは、三中ならではのものです。次回の取り組みを期待しています。